

豊田地域

# 医療センター だより

2020  
vol. 75



- 1p · 表紙
- 2p · 新年のご挨拶
  - ・市民公開講座報告
  - ・マラソン大会にスタッフとして参加しました
- 3p · 在宅医療支援センター
  - 在宅医療支援センターの「3つの支える」
  - 栄養科
  - アルコールの適量を知りましょう!
- 4p · 新任医師、新人職員の紹介
  - 職員募集について

- 5p · 健診センターからの情報  
**「人間ドック推進キャンペーン」**
  - 看護専門学校だより  
**「戴灯式の報告」**
- 6p · 外来担当医表
  - 医療センターニュース
  - **-再整備事業の進捗状況について** (報告)





# 2020 新年のご挨拶



豊田地域医療センター 院長 井野 晶夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。旧年中は皆様より当センターへご支援を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

医療センターの再整備事業においては建設工事のため、大変ご迷惑をおかけしていること深謝いたします。令和2年中には190床の新病院がオープンしますが、安心感がある病棟、シンプルな動線や家族との憩いの場を配慮した「患者目線で優しい環境」、および在宅医療と介護連携機能の集約、リハビリ環境の向上、総合診療専門医の育成の場、健康増進の場を備えた「地域医療の推進」を設計コンセプトとしています。また「コミュニティホスピタル」を目指した新病院の稼動に向けて、外来・病棟・在宅を通してワンストップで診療を継続できる「かかりつけ病院」、訪問診療、訪問

看護や訪問リハビリ体制を充実・強化した「地域医療の最前线」、病院内外での一般市民との交流を通じて地域との距離感を狭めた「地域に開かれた病院」、健診活動の活性化と健康促進活動を強化した「地域の健康づくり」、地域医療に関わる人材の育成に向けた教育・研修活動の充実を図る「教育で地域医療を活性化」に尽力してまいります。また、ニーズを的確に把握した患者本位の病院サービスと確実な医療の質管理を目的としてTQM活動を昨年より始めています。病院の各部門の職員が一人ひとり横断的な見地から何をすべきかを考え、そして課題を改善しようとする姿勢が醸成できることを期待しています。

いよいよ7月には東京オリンピックが始まります。今年が皆様にとって充実した1年になりますことを祈念しております。医療センターは最高の「コミュニティホスピタル」を目指して頑張ってまいりますので宜しくお願ひいたします。

11月9日(土)



## 「市民公開講座報告」

豊田加茂医師会館講堂にて、毎年恒例となっております市民公開講座を開催しました。今回は、藤田医科大学地域包括ケア中核センター長の金田嘉清教授を講師としてお招きし、住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らるために支えあうシステム『地域包括ケアシステム』について、データをもとにわかりやすく日本の現状をご説明いただきました。また、藤田医科大学の興味深い取組みについてもご紹介いただきました。「街づくりは人づくり」という先生のお話を踏まえ、当センターでも「人材育成・教育」を強化してまいります。



## 「第40回記念豊田マラソン大会にスタッフとして参加しました」

看護部 木下輝美

第40回記念豊田マラソン大会が開催され、11,367名の市民ランナーが参加されました。救護班として当院より医師3名、看護師3名が派遣され4か所の救護所、2台の中継車に分かれ市民ランナーの方々が安全で安心して走れるように救護活動を行いました。医療スタッフは選手に声援しながら気になる選手には休憩を勧め、会場のスタッフと共に協力して安全に選手が完走することができ、多数の救急搬送選手もなく無事に終えることが出来ました。

今後も多くの市民の方々と交流を持ち、地域に貢献して行けるよう努力していきたいと思います。

地域の  
関係機関を  
支える

多職種と  
連携し地域を  
支える

地域の健康を  
支える



## 在宅医療支援センターの 「3つの支える」

医療センターは「コミュニティホスピタル」という新しい病院像を確立し、住民の皆様が、人生の最期まで「自分らしい暮らし」を続けることが出来る地域づくりに貢献し、市民の方と交流を持ち、地域と共に成長する病院を目指しています。そこで、在宅医療支援センターでは左記の「3つの支える」を実施しています。

## 地域の健康を支える【健康講座の実施】

地域の高齢者クラブに参加し、健康をテーマにした講座を開催しております。「医師が実践するマル秘健康法」や「最期の意思決定支援」「看取り」の話など、笑える話から真剣な話まで、普段なかなか聞けない現役医師の話は、好評を頂いております。ご希望があればいつでもご相談下さい。医師、看護師、セラピスト等が地域までお伺いします。

お問い合わせ先:在宅医療支援センター TEL. 0565-34-3095

## 冬は楽しい集まりがいっぱい!

### アルコールの適量を知りましょう!

「節度ある適度な飲酒」は  
1日平均純アルコールにして  
約20gとされています



適度な飲酒で身体をいたわりましょう



栄養科 荒木純子

### はやと瓜としじみのスープ (二日酔いを予防するしじみ)

#### 材料【2人分】

はやと瓜…50g  
しじみ…80g、葱…少々  
だし汁…2カップ  
醤油、塩、生姜…少々



飲酒の後に胃を休める  
やさしいスープです。  
冬瓜でも代用できます

# 人間ドック推進キャンペーン

健診センター

1月～3月限定!

## 特別料金

1～3月中の受診に限り15%～16.6%割引の特別料金にて人間ドックを受けていただけます。是非、このチャンスをご利用ください。

コース名	通常料金(税込み)	特別料金(税込み)
けやき	39,600円	33,000円
ひまわりA	33,000円	27,500円
ひまわりB	28,600円	24,200円
さつき	22,000円	18,700円

※全額自己負担で受診される方が対象です。※オプション検査は割引対象外です。

お申込み先: 健診予約センター TEL0565-34-3002



## 看護専門学校だより『戴灯式の報告』11月6日(水)

### 仲間と共に「看護の道」を歩み続けます

この春に入学した17回生39名の戴灯式を挙行しました。この式典には、ナイチンゲールの像から「看護の灯(ともしび)」を受け取ることで、この火を絶やすことなく、看護の心を大切に受け継ぐという意味合があります。ろうそくの光に照らされ、厳かな雰囲気のなか、長い看護の歴史を引き継ぐことにひとりひとり緊張した面持ちでしたが、これから歩む看護の道への期待や不安を感じながらも誇らしく見えました。

入学から7ヶ月、看護とは何かを考え、日々学習や技術習得に邁進してきました。戴灯式を迎えるにあたり、クラスの仲間と共にそれぞれの看護に対する思いを持ち寄って、誓いの言葉を作り上げました。これから出会う患者さまを第一に考え、仲間と共に看護を学び続ける決意を「誓いの言葉」としてクラス全員で力強く唱和しました。日頃からサポートしてくださる保護者、豊田市長をはじめ来賓の皆さんに見守られながら、この日を迎えられ、これからも看護の道を邁進する戴灯生の心に残る式となりました。



# 外来担当医表

●お問い合わせ 医事課 TEL.0565-34-3006

診療時間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日	9:00～12:00
	休診日	日曜日、祝日、年末年始

救急診療は  
24時間  
受入れ体制

診療科目	月	火	水	木	金	土	担当医 (当番制)
内科一般							
総合診療科	上 松	日比野	北 山	田 口	平 嶋		
	今 井	岩 崎	岩 崎	藤 村	金 野		
	高 岡	清 原	新 美	岡 本	清 原		
	森川(智)	浅 井 (もの忘れ外来)	岡 本	近藤(敬)	篠 田		
		平 嶋				寺 澤	
午前		坂 本				今 井	坂 本 (第3・4・5週)
消化器内科						木 村	
循環器内科							
呼吸器内科	茂 谷						
外 科	藤 田	清水(謙)	山 口	四 方	清水(朋)	清水(謙)	
整形外科	立 花		山 田	立 花			立 花
脳神経外科	中 村		廣 瀬 (もの忘れ外来)				
午後	上 松	日比野	石 黒	田 口 (禁煙外来)	寺 澤		
総合診療科	野 崎	河 合		近藤(千)	岩 田		
	中 西	上 松		河邊(温)	河 合		
	河 合			森川(智) (第1・3・5週)	柿 本		
	井 野				大 杉(泰) (第1・3週)		
					荒 川 (第2・4・5週)		
リハビリテーション科		太 田		太 田			
神 経 内 科			竹 内(謙) (もの忘れ外来)	竹 内(謙)			
呼吸器内科				柿 原 (睡眠時無呼吸検査)			
泌 尿 器 科	白 木 (第2・4週)						

※曜日・担当医は変更になる場合があります。ご了承ください。※青字の医師は、藤田医科大学教授です。

令和元年10月1日現在

## 医療センターニュース

### 再整備事業の進捗状況について(報告)

工事中の新棟は徐々に上階の躯体工事に移り、資材を揚げ降ろしするための2本のタワークレーンが十数メートル高になりました。毎日見てている我々はなかなか気が付きませんが、皆さまはいかがでしょうか。さて、このように建物がその姿を現してくると、つい忘れてしますが、1年以上前から始まった工事の相当期間は基礎工事でした。建物の最下層にある免震ピットは、現在、最終工程を迎えておりますが、先日その現場を見学する機会に恵まれました。文字通り、縁の下の力持ちである免振装置が建物を支え、縦横両方向の揺れを吸収する構造に驚くとともに大きな安心感に包まれました。将来発生するであろう大地震から、病気療養中の患者さまだけでなく我々医療者や市民の皆さまの命が守られることを確信しました。その新棟は令和2年中に竣工予定ですので、今しばらくお待ちください。

